

そらこめ通信 No.48 2014.07発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。
6月初旬に38度という道内のこの時期としては記録的な猛暑になった地域もあれば、その後一転して雨の日が14日以上も続き、観測史上記録的な長雨になった地域もあるなど6月前半はとても不安定な天気でした。一般的に梅雨がないとされる北海道にとってこの天候は珍しく、これもエルニーニョの影響なのかと気をもみましたが、6月中旬からは天気も回復、ホッと胸をなでおろしています。今年の春に気象庁から出されていた初夏の長期予報もここにきて例年並みへと修正されたようで、まずは一安心といたところですよ。

6月の農作業と言えば、畦畔の草刈が主な作業ですが、弊社のように水稲以外の副業として花卉の栽培を行っている農家では、田植えの終了と同時に、あるいは田植えと並行する形で育苗ハウスの空きを利用して花の苗の移植作業が始まります。北海道の冷涼な気候は花卉の栽培に適しているとされ、高品質な花卉類が生産されるとともに、その多くは本州方面に運ばれて高値で取引されています。花卉は相場物であり、人手もかかりますが、稲作農家の副業としてはまずまずの農産品なのかも知れません。本業の水稲ですが、6月30日現在の生育状況は例年並みか、やや進んでいるようです。作付品種については、昨年までの7品種(ななつぼし、ゆめびりか、おぼろづき、きたくりん、ゆきがすみ、ゆきさやか、ゆきひかり)に、今年から新たに「ふっくりんこ」が加わり全部で8品種になりました。まさに「こめ工房」の名にふさわしい品ぞろえになったと自負しているところです。今秋には皆様のもとにお届けできると思いますのでもうしばらくお待ち願います。乞うご期待!!。



工事の為に休耕している圃場(5月29日)



リモコンポートによる除草剤散布～除草剤は基本的にこの1回のみ(5月30日)



花卉栽培のための耕起作業(5月31日)



ハウスの後片付け(5月31日)



ソバ畑の耕起作業(6月5日)



ソバの種まき作業(6月5日)



花卉栽培～ダリアの移植作業(中6月5日、右6月8日)



最近移植されたダリア(6月27日)



初期に移植されたダリア(中)とシネンシス(右)(6月27日撮影)



今年で2年目「きたくりん」の圃場



今年初めての作付「ふっくりんこ」



北農研の「ゆきがすみ」



関東から注文がある北農研「ゆきさやか」



今年も作付している「ゆきひかり」



根強い人気の「おぼろづき」



人気の品種「ゆめびりか」



リピーターが多い「ななつぼし」



圃場にいたオタマジャクシ(6月27日)

水ぬるむこの時期、あちらこちらの圃場の中でオタマジャクシがたくさん泳いでいます。これらが将来全部カエルに成長するのかもしれないとちょっと恐い感じ…。でも、これが自然の摂理です。お盆を過ぎたあたりから、雨が近づくとびにこれらが圃場を囲んで一斉に鳴き出す様はまさに圧巻。幼い頃、街灯もなく真っ暗の中で感じた原風景そのものであります。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米♪

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です